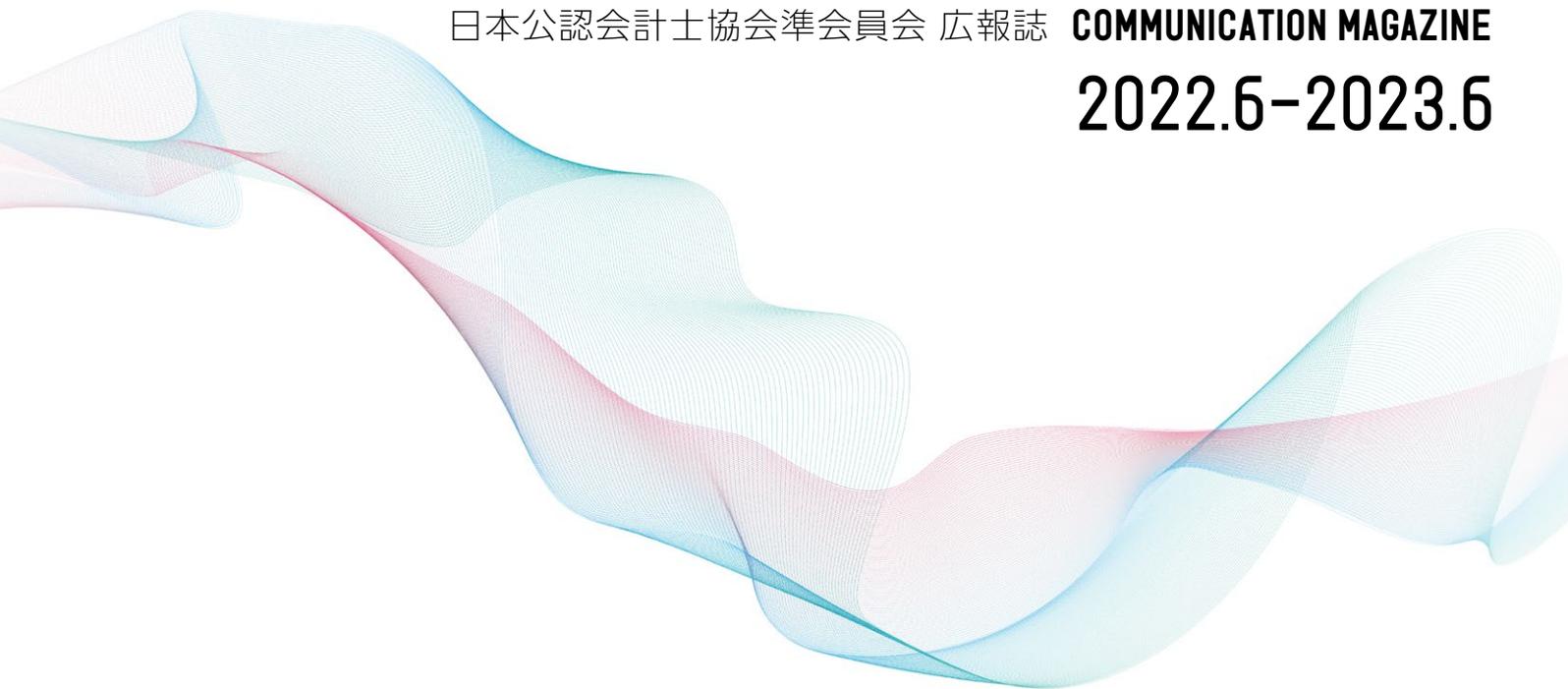




# JIIA JOURNAL

日本公認会計士協会準会員会 広報誌 COMMUNICATION MAGAZINE

2022.6-2023.6



## 日本公認会計士協会準会員会とは

日本公認会計士協会準会員会とは、会計士補と公認会計士試験合格者（以下、併せて準会員）の6,717人（2023年8月31日現在）で構成される、オフィシャルな若手組織です。準会員会は、北海道分会、東北分会、東京分会、東海分会、近畿分会、中国分会、四国分会、北部九州分会という8つの地方分会から成ります。各分会の幹事は、準会員の資質の向上、準会員相互の交流および業界の発展に寄与することを目的として、主に以下のような活動を行っています。

1

講演会・勉強会や交流会などの準会員向けイベントの企画・開催

2

就活セミナーなどの公認会計士試験合格者向けイベントの企画・開催

3

主に高校生に向けて公認会計士を紹介する「そうだ、母校に帰ろう！」企画・開催

4

著名人や様々な分野で活躍されている先輩方へのインタビュー

5

海外の法人視察や海外で開催される研究大会への参加、[Global Journal]発行などの国際活動

6

活動報告を目的とした「JIIA Journal」の発行をはじめとした広報活動

## 2022年度活動報告

2022年6月～2023年6月

2022年度に開催した活動の紹介は、当冊子の活動報告のページをご覧ください。

その他、過年度に実施したインタビュー記事や活動報告、今後開催予定のイベント等、準会員会の活動に関する様々な情報を準会員会HP(<https://www.jija.jicpa.or.jp>)に掲載しております。「準会員会」で検索ください。

# JIIA JOURNAL

2022.6-2023.6

## CONTENTS

東京分会活動報告	4
近畿分会活動報告	6
北部九州分会活動報告	8
その他分会	9
北海道分会	9
東北分会	9
東海分会	10
中国分会	10
四国分会	11
北部九州分会	11
全国幹事会報告	12

### JIIA JOURNALとは

準会員会の活動報告、情報発信のためのコミュニケーションマガジン。準会員会では、掲載したものの以外にも様々な活動を行っています。詳しくは、ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.jija.jicpa.or.jp>



## 幹事募集のお知らせ

日本公認会計士協会準会員会では、一緒に活動する仲間を募集しています。  
皆で会計士業界を盛り上げていきましょう！

### 幹事活動を通じてできること

- 個人では困難な企画を実現できること

準会員会の幹事は、組織として活動できることから、大きなイベントを企画することや、個人では接することが難しい相手へのインタビューなどができます。また、そうした企画を実現することは、大きな経験にもなります。

- 地域や年次を超えたネットワークができること

幹事活動を通して、他の地域分会の準会員と交流したり、協会役員や各地域会の方々と交流する機会があります。こうした所属の壁を超えた交流という経験は、日々の業務に携わるだけでは得られない貴重なものにもなり得ます。

これから準会員になる方も、本業だけでは物足りなさを感じている準会員の方も、よろしければ一緒に幹事活動をやってみませんか。  
ご興味のある方は準会員会HPのお問い合わせフォーム、またはお近くの幹事へお問い合わせください。

HPへのアクセスは  
<https://www.jija.jicpa.or.jp>から、  
もしくは「準会員会」で検索を！



## 準会員会の組織について



# 分会活動報告



## 東京分会



2022  
9/24

公認会計士×  
ソーシャルビジネス  
会計士として社会と

どう関わっていくか

新型コロナウイルスの感染拡大、ウクライナ情勢による世界経済の劇的な変化、世界的なSDGsへの関心の高まりを発端に一人ひとりの働き方が大きく変化していくなか、公認会計士に対する社会からの期待は、組織ガバナンスや非財務情報といった分野にも広がってきております。このような状況下で、公認会計士としてどのように社会に貢献していくことができるかを

考え、それを実践していくことができます  
必要となってきました。

2022年9月24日(土)、日本公認会計士協会準会員会東京分会では、今後の公認会計士のソーシャルキャリアについてご紹介する座談会・勉強会「公認会計士×ソーシャルビジネス 会計士として社会とどう関わっていくか?」を開催いたしました。

今回は、社会課題に挑む公認会計士のプラットフォーム形成を目指すNPO法人Accountability for Change様より、代表理事の池山允浩様(公認会計士)、理事の村越樹生様(公認会計士)、工藤裕希様(準会員)の御三方にご登壇いただきました。

池山様からは、ソーシャルビジネスの概要と公認会計士との関わり方について、

また、実際にソーシャルビジネスに関わり  
ご活躍されている公認会計士の方のお話  
をご紹介いただきました。さらに、今非  
常にホットな話題である「インパクト投資」  
や「統合報告」についてもご説明いただき、  
大変有意義な時間でした。

村越様と工藤様からは、ご自身が実際  
に行われているプロボノ活動に関する体験  
談をお話いただきました。本業との兼ね  
合いや、アクションの起こし方などについて  
も詳しくご説明いただき、これからプロボ  
ノ活動を実践してみようと考えられている  
方にとつて、非常に貴重なお話をお聞きす  
ることができました。

匿名のオンライン質問ツールを利用する  
ことで参加者が気兼ねなく質問ができる  
環境を整えたことが功を奏したのか、参加  
者から多くの質問が寄せられましたので、  
それらに適宜お答えいただきながら進行し  
ていただきました。

会場8名とオンライン18名の計26名の方  
にご参加いただき、全ての参加者の方から  
「満足」というアンケート回答をいただき  
ました。また、「自身と年次が近い若手、  
中堅の方々が活



躍されている事  
例を聞くことが  
できて勇気づけ  
られました。プロ  
ボノ活動が本  
業に与える良い  
影響を知ること  
ができ、将来の  
働き方の選択肢

が増えました」等のご感想をいただきました。

今回の企画は、公認会計士とソーシャル  
ビジネスとの多様な関わり方を知る一つ  
のきっかけ、また、個人の将来の選択肢を  
広げる手助けとなったのではないかと思います。

準会員会では、今後も会員・準会員の  
皆様の知見や選択肢を広げるための一助  
となるようなイベントを積極的に開催して  
いきます。ご興味がある方は、ぜひご参加  
ください。



2022年10月1日(土)に玩具通販サイトを始め、初心者向けSEO(検索エンジン最適化)コンサルティングを行っている鈴木健介氏をお招きし、入門講義として「SEO勉強会」を開催いたしました。

公認会計士は、監査法人に限らず企業内会計士として勤務する、独立して会計事務所を立ち上げる等、幅広い活躍ができる点が魅力です。例えば、独立した際に自身の事務所のホームページを作成することが考えられますが、そのような状況下で必要となる知識の習得は、インターネットが隆盛している現代において欠かせないスキルと言っても過言ではありません。そこで、準会員・公認会計士のキャリアの幅をさらに広げることを目的にSEOと聞いてもよくわからない準会員に向けた超入門のSEO講義を企画いたしました。

まず、「クライアント様に対してSEO対策の話ができる状態」という目標を設定し、そもそもSEOとはなにか、Googleはどのようにマネタイズしているかを解説いただき、次に、SEOの種類や対策方法の説明がございました。その際、実際のホームページを参考にどうすればより良くなるかを解説いただきました。講義中は活発な質疑応答があり非常に盛り上がり、大変有意義な時間でした。

また、イベント終了後のアンケートや講師からのご提案で、雑談のアドバイスセミ

ナー、独立する人向けの集客セミナー、受験生向けのセミナーなどの次回以降のイベントのアイデアをいただくことができました。

東京分会としましてはこれらの案をもとに、より良いイベントを企画する所存でございます。様々な改善点があり、ブラッシュアップできるポイントも多くございましたが、無事にイベントを終えることができました。ご協力いただいた方、参加された方、誠にありがとうございました。今後ともお力添えのほど、よろしく願いたします。準会員会では、今後も会員・準会員の皆様の知見や選択肢を広げるための一助となるようなイベントを積極的に開催していきます。ご興味がある方は、ぜひご参加ください。

2022  
12/13

### 2022年期生東京実務 補習所入所ガイダンス

2022年12月13日(火)に東京実務補習所の2022年期生入所ガイダンスが日本教育会館一ツ橋ホールで開催されました。入所ガイダンスは、実務補習の全体内容や実施時期などが説明される重要なイベントです。当日はこちらのイベントに日本公認会計士協会準会員の紹介として、東京分会から幹事の源が参加し、公認会計士試験合格者の皆様に準会員会

活動の魅力をつつご紹介させていただきました。

魅力の一つ目として、若手では経験できないような経験ができる点を挙げさせていただきます。監査法人のスタッフ・アシエイトクラスでは、自分たちでイベントを企画・運営する機会は通常経験できませんが、準会員の活動ではJ1の間からそれを体験することができます。実際、2023年1月7日(土)に実施したExcelセミナーでは、我々が毎日監査業務で使うExcelの効率的な操作方法を学びました。さらに、2023年1月15日(日)に実施した英語学習についてのイベントでは、公認会計士の英語力のニーズが社会から高まる中、英語の習得方法に焦点を当てたセミナーを実施いたしました。そして、このどちらのイベントも現役の準会員の幹事メンバーが準会員のニーズを捉えて、企画・運営したものです。このような経験は合格者の皆様の将来に役立つ経験になると考えております。

魅力の二つ目として、幅広い人間関係を築けるという点を挙げさせていただきます。監査法人に所属しているスタッフ・アシエイトは、どうしても自分の法人内



部の人間関係に籠りがちになる傾向があります。

しかし、準会員会では会務活動やイベント運営を通じて、各業界の有名人や、他の監査法人、事業会社、コンサル

ティングファームで活躍する先輩や独立して活躍されている公認会計士の方などとの人間関係を広げることができます。実際に、2022年10月に全国幹事会が福岡で開催され、全国の準会員の幹事メンバーと人間関係を育むことができました。最近、リモートワークが増えていることから、法人内でもなかなか知り合いが増えないという声が増えてくる中、準会員会活動は人間関係の構築方法の一つとして、非常に素晴らしい場だと考えております。私自身、J2という身で、合格者の皆様に何をお伝えすればよいかと、思慮いたしましたが、考える過程で準会員会活動を通して、皆様のお陰で非常に成長できる経験をさせていただいていると思ひ至りました。このご恩を返せるように、今後も、準会員会では会員・準会員会向けに役立つイベントを開催してまいります。



## 正しい英語学習法を学ぼう！

2023年1月15日(日)に、日本公認会計士協会準会員会東京分会主催で「正しい英語学習法を学ぼう！」と題して英語学習セミナーを開催いたしました。本講義の講師には、延べ3,000人以上に英語の学習法を伝授されてきた、英語スクールGlobal代表川崎あゆみ様にご登壇いただきました。

公認会計士として業務を行う上で、英語力の重要性は、近年ますます高まっております。英語を習得したいという意識が強くあっても、日本で仕事をする環境に身を置いていると、英語に触れる時間は限られており、なかなか上達せず悩んでいる人は少なくないと思います。そこで、学習法を学ぶことで、短期間で効率的に英語を習得しようというのが本イベントの趣旨です。

本イベントはオンライン講義形式で行い、まず、川崎様ご自身の、米国の大学に進学した当時の経験談を交え、TESOL(英語教授法)に基づいた、効果的かつ効率的な言語学習法とはなにか、をご説明いただきました。TOEICで高得点が取れば、時間さえ取れば、覚悟さえ決めれば、話せるようになる」といった世の中の考え方は、非効果的かつ非効率的であり、実際に、第二言語習得学者の研究結果とは相反しているそうです。そこで、研究結果に基づき、「英語習得のための3つの効率の良いステップ」をご教示いた

きました。

ステップ1として、よくある英語学習方法について一般論をご説明いただいた上で、その定説の誤りを解説いただくとともに、やみくもに学習をスタートさせるのではなく、いかに戦略的に英語を学習する必要性があるかを述べていただきました。

ステップ2として、人前で英語を話せるようになるための手順を解説いただき、受講者が今この手順に留まってしまうというるか解説し、そこからの脱却方法をご提示いただきました。

最後のステップとして、英語学習の全体像を示し、目標レベルに到達するための知識の整理、実践方法、習慣化する方法をととても分かりやすくご説明いただきました。講義終盤には、参加者の質問に川崎様からご回答をいただく時間を設けました。本講義はオンライン開催でしたが、参加者は画面をオンにいただき、その時々のリアクションが写し出されたこともあり、たくさんの方々からご質問があり、時間いっぱいまで川崎様にご対応いただき、大変盛り上がったイベントとなりました。

以上、本イベントに関する活動報告となります。過年度と比較すると海外渡航の機会も増加し、より一層英語が求められる機会も増えたのではないのでしょうか。今後準会員会では、会員・準会員向けに役立つようなイベントを企画・開催したいと思います。

最後に、本イベント講師の川崎あゆみ様及び参加された皆様に厚く御礼申し上げます。



## 近畿分会

2022  
8/28

## 監査法人就職相談会

8月28日(日)に、大阪商工会議所とZoomを併用したハイブリット形式により、令和4年度公認会計士試験論文式試験受験生向けに、就職イベントを行いました。イベントには会場に6名、オンラインに10名がご参加いただきました。

9時40分よりイベントを開始し、まずは監査法人の就職活動の進め方、気を付けるポイントについてお話ししました。次に、大手法人と中堅法人の違いについて話しました。このテーマは、各監査法人が主催するイベントでは取り扱うことが難しいテーマであり、準会員会ならではのテーマとして実施いたしました。企画者も就職活動時に悩んだ経験があり、それを踏まえてのテーマ選びをいたしました。

休憩をはさみ、質疑応答と、就活生同士の懇親会を実施いたしました。就職活動がオンライン主体となり、就活生同士の繋がりができないというデメリットを補完するために、就活生同士でお話できる場を設けました。また、就活生同士でお話しいただくだけでなく、準会員に質問していただくこともございました。

イベント後アンケート結果では、お

むね満足の回答をいただくことができました。特に、法人の偏りなく、中立な立場でお話してきたことが好印象だったようです。また、就活生同士でお話できる機会が欲しいとのことでしたので、今後、そのようなイベントができるかどうか検討してまいります。

今回のイベントは、時期が予備校や法人イベントと重なっており、集客の点でうまくいきませんでした。ただし、次年度以降も準会員会という中立な立場から就職活動のサポートをするのは有用であると考えており、時期と内容を再検討して、今後の企画の検討をしてまいります。



2022  
9/10

## 日本一型破りな公認会計士 小山晃弘氏と考える 公認会計士これからのキャリア

9月10日(土)近畿会研修室とZoomウェビナーのハイブリット形式にて、「日本一型破りな公認会計士 小山晃弘氏と考える 公認会計士これからのキャリア」というイベントを、近畿会広報部と共同開催という形で実施いたしました。

YouTubeでは6万人の登録者、SNS全体では計10万人のフォロワーを抱え、多方面で活躍しておられる小山晃弘氏を近畿会にお呼びして、受験生、就活生、準会員に向けて、会計士に向けたキャリアトークを実施いたしました。

前半後半の二部構成として、前半が①受験時代編②監査法人編③独立編④現在で、その時々思い出さず意識していたことについてパネルディスカッション形式でキャリアトークを行い、後半には質疑応答、準会員の紹介を実施いたしました。

パネルディスカッションでは、総合司会として近畿会広報部長の桂真理子さん、パネラーとして広報部サポーターの青柳敏文さん、準会員会幹事の鈴木陸眞を進めていただきました。

準会員会としては、過去最大規模の方に向けて準会員会幹事活動の紹介を行うことができ、次年度以降の活動活性化が期待されます。

大きな反響をいただけているため、今後とも近畿会広報部、中堅若手委員会と協力

して、近畿会・近畿分会を盛り上げられるよう邁進してまいります。



2023  
1/7

## Excel 研修報告

2023年1月7日、準会員を対象として毎年恒例Excel研修を実施いたしました。特に今年は、「監査で使うExcel」をテーマとするため、イベント名を「監査Excel基礎」と名付けました。

11月に論文式試験に合格し、12月より実務補習所に入所した新規入所生を主な対象として、前半では、監査業務を行うた

めに必須の基本的なショートカットキーや関数などのスキルを講義形式でお伝えし、後半では、前半でお伝えしたショートカットキーや関数を実践的に学ぶため、主に監査法人のJ1が担当するであろう「有利子負債調査」の作成を通じた演習を行うという二部構成で行いました。

コロナ禍でオンラインイベントが主流となったことも踏まえ、Zoomを通じて今年も会場とオンラインのハイブリット形式で実施いたしました。会場は近畿会場と東海会場にお越しいただき、オンラインでは東京や広島など各地からご参加いただきました。

受講生からの質問への対応を適時に実施するため、近畿会場、東海会場では幹事が待機し、Zoom会場ではチャット機能を使用しました。

事後アンケートを通して、約7割の受講生から「よかった」「とてもよかった」という感想をいただき、イベントとしてはおおむね満足な結果を得られたと感じています。一方、今後のイベントに活かすことのできるご意見を頂戴することもできましたので、今後のイベントに参加いただく準会員の方により満足いただけるよう、改善していきます。

来期以降はより多くの分会との共催を実施し、引き続き全国規模に実施できるように連携していきたいと思っております。

(近畿分会長 井上新之介)



講師の村上昌志幹事



イベントの様子(近畿会場)



## 北部九州分会

2023  
6/3

### フットサル大会

2023年6月3日(土)、北部九州分会準会員メンバーを対象としたフットサル大会を開催いたしました。繁忙期付近での開催であったためメンバーが集まるかと懸念していましたが、当日は準会員18名の方々にご参加いただきまして、無事開催することができました。当日ご参加いただきました皆様には改めてお礼申し上げます。

2020年度以降、北部九州分会は長引く新型コロナウイルス感染症の影響から、準会員会としての活動を全面的に停止しておりました。この結果、準会員同士の交流機会が減少して

準会員会への帰属意識が薄くなる、準会員間のネットワークが従来よりも構築しづらくなっているという様な状況が発生していると認識しております。

今回のフットサル大会につきましては、このような現状を変えるきっかけと



するべく実施する運びとなりました。新型コロナウイルス感染症も2023年5月から5類感染症へと移行し、落ち着いてきている状況にあります。今回の活動を機に、今後の準会員会としての活動をより活性化、具体的には従来実施していたJ1歓迎会の再開の他、新たに広報活動等にも取り組んでいくことよって、準会員間により良い関係性の構築を目指していきたい所存です。

最後にはなりますが、北部九州分会は今後も様々な企画を展開していく予定です。皆様と一緒に北部九州分会を盛り上げていきたいと考えておりますので、企画の際には是非お力添えをよろしくお願致します。



## その他の地域分会活動報告



### 北海道分会



- 
- 
- 

2022年度の北海道分会では例年10名前後が新たな準会員となるどころ、22名がJ1として準会員に加入いたしました。2020年度から継続する新型コロナウィルスの影響のため、例年実施していた歓迎会等のイベントを開催することが出来なかつたのですが、5月に新型コロナウィルスの5類への引き下げを受けて、4年ぶりに会員及び準会員合同のビーパーティーを7月に開催することができました。長らくこのような対面での交流の機会が制限されていたため、改めて交流を深める機会を定期的に開催する重要性を再認識いたしました。

2023年6月17日(土)には実務補習所ではJ2実務補習生を対象とした税務特別研修会を開催いただき、補習生が不得手とされる税務分野について、池脇電太先生に講義いただきと共に交流の場をお作りいただきました。講師の皆様及び実施に際してご準備いただきました日本公認会計士協会北海道会事務局の皆様にご礼申し上げます。

本年度の北海道分会での一番のイベントである研究大会が2023年9月8日(金)にロイトン札幌で開催されました。数十年ぶりに地元北海道で開催される研究大会であり、講演や会員間の交流を楽しむことができ、大変有意義な経験を積むことができました。本年度につきましては、新型コロナウィルスによる行動制限が徐々に緩和されていることもあり、ここ数年と

は異なる活動を模索していかなければいけません。過去に行なわれていた有意義なイベントや企画を再始動するとともに、新たな活動を開始するチャンスでもあるため、積極的に活動していこうと思います。



### 東北分会

- 
- 
- 

2023年度東北分会は、監査法人所属の1、2年目を中心としたメンバーで、昨年度の8名を上回る14名で活動していくこととなりました。

例年、東北分会では異業種交流会や公



認会計士試験受験生への制度説明会など東北分会外部への広報活動を行っておりましたが、2020年度から継続する新型コロナウィルスの影響のため、前年度までは例年開催されていたイベントは開催を見送っております。

ですが2023年度においては、新型コロナウィルスの感染の影響が徐々に落ち着いてきている状況を鑑み、2年ぶりに公認会計士受験生への制度説明会を来年1月に開催する予定です。近年公認会計士受験者数は増加傾向にあり、合格率も年々減少傾向にあることから、受験勉強に関して不安を抱えている受験生の勉強の悩みを解消する機会を設け、将来に安心してもらうことで、受験生が前向きに公認会計士を目指すようにし、結果として若手が不足しがちな東北分会の活性化につながることを目的として活動を行います。

2年ぶりの東北分会としての外部向けの活動になりますので、普段交流しない年代層かつ業界外部の方々との交流を通して準会員会東北分会の周知、及び地域の公認会計士業界の発展に寄与できればと考えております。

さらに、公認会計士業界全体として在宅勤務の比率が高まっている現状において、職場内でのコミュニケーションが希薄になっていることが想定されるため、東北分会では引き続きオンラインを活用した懇親会等を実施することで所属監査法人以外にもネットワークを作り、気軽に悩みやキャリアの相談ができる場を増やしていきたいと考えております。



## 東海分会

2022年度は、新型コロナウイルス感染症による影響も落ち着いてきたことから、近畿分会と共同で実施したExcerciseミナー(1月8日(土)開催)や、東海分会所属会員を対象としたバレーボール交流会(2月4日(土)開催)など、例年と比べ活発な活動を実施することができました。

Excerciseミナーは、新J1を対象として毎年で近畿分会が主催しているイベントです。当イベントに東海分会も参加

させていたたく形となり、名古屋に会場を借りて近畿分会とオンラインでつなげることで、東海分会の新J1の皆様も対面でExcerciseミナーに参加いただきました。会場では東海分会メンバーもおり、対面で開催者の皆様のサポートも実施するとともに交流を深めました。会場の東海分会メンバーの人数も少なく、皆様を十分にサポートできなかったかもしれませんが、参加者の皆様には多数の質問をしていただいたり、真剣に話を聞いていただいたり内容がとても充実したものになったと思います。また、当イベントの開催を通じて東海分会では経験が少ないセミナーの実施方法についても学ぶことができました。

バレーボール交流会では、体育館を借り、4チームに分かれてリーグ戦を実施しました。当日は東海分会所属のJ1からJ4まで幅広い年次の約30名の皆様にこ



参加いただきました。バレー初心者の方々が大半でしたが、非常に盛り上がり、年次・法人の垣根を越えて交流を深めることができました。久しぶりの東海分会が主催するイベントということもあり、イベントの企画から実施まで数々の困難がありましたが、無事完遂できたことに参加者の皆様をはじめご協力いただいた皆様にお礼申し上げます。

2023年度は、前年度でつけた勢いや各地域とのつながりをバネに、より活発に活動していきたいと思っております。引き続き東海分会をよろしく願いたします。



## 中国分会

ここ数年新型コロナウイルス感染症の影響により中国分会のイベントの開催を控えていました。

しかし、今年度においては「コロナの影響が落ち着きをみせているため、中国分会での交流の機会を設けるために「コロナ以前と同様のイベントを企画しております。」

2023年2月26日(日)には、今年度新たに中国分会に入られたJ1の方々の歓迎の場として「新入所生歓迎会」を開催させていただきました。

参加者はJ1からJ3の方々を中心に

なり、監査法人と実務補習所に入所されて間もないJ1の皆様の疑問・不安などに先輩方がアドバイスを送りました。

監査法人の研修期間が終わり初往査を体験した話、補習所の講義や考査の向き合い方など、J1からJ3という監査法人に入つて日が浅い会計士ならではの話で盛り上がり参加者の皆様の仲が深まりました。

今後の活動予定としましては、10月28日(土)にコロナ以前の4年ぶりとなる弁護士会とのフットサル大会の開催に向けて企画しております。

コロナ以降集まってスポーツをすることを控えていたり、運動習慣のない方にとって士業仲間と和やかにスポーツをする機会はとても貴重であり、開催を楽しみにしてください。フットサル大会後の恒例となっていた懇親会も開催予定で、異業種の方と食事を楽しみながら知見を深め、人脈が広がることを願っております。

最後になりますがお忙しい中でありながらイベントに参加を希望してくださった皆様に厚く御礼申し上げます。





## 四国分会

四国分会は、総勢27人の小規模の分会であり、準会員同士の距離が近く、新型コロナウイルスが流行する以前は、様々なイベントを開催しておりました。しかし、ここ数年は、新型コロナウイルスの影響で会員同士の交流を主としたイベントが実施できておりませんでした。

当年度は、新型コロナウイルスの影響も収まり始め、数年ぶりにJ1歓迎会を行いました。仕事の話やプライベートの話など、準会員同士が和気藹々と会話し、親睦が一層深まる会となりました。特に、仕事だけでは分からない人となりを肌で感じることができ、大変貴重な時間となりました。

四国分会は小規模であるため、準会員同士のリレーションシップが重要となります。そのため、今後はJ1歓迎会の実施はもちろんのこと、定期的に準会員同士の交流で情報共有を行いたいと考えております。

久しぶりに実施できた交流の機会を継続するために、他の分会の活動実績を参考にさせていただきながら、状況を鑑みて可能なことから活動に励んでいく所存でございます。また、四国分会ならではの活動も考えております。

引き続き、四国分会をどうぞよろしく  
お願い申し上げます。



## 北部九州分会

北部九州分会は長引く新型コロナウイルス感染症の影響から積極的な活動を控えてまいりました。その結果、他法人や監査法人以外に所属する準会員間の交流の場が減少し、準会員会への帰属意識が希薄化している現状であると認識しております。

この現状を変えるべく、所属法人に囚われない準会員同士の交流の場を設けること、また準会員会としての活動を通じて2023年度以降も活動を続けていくきっかけを作ることを目的として、2023年6月3日(土)に準会員メンバーを対象としたフットサル大会を実施し、約3年ぶりの活動実績を作ることができました。

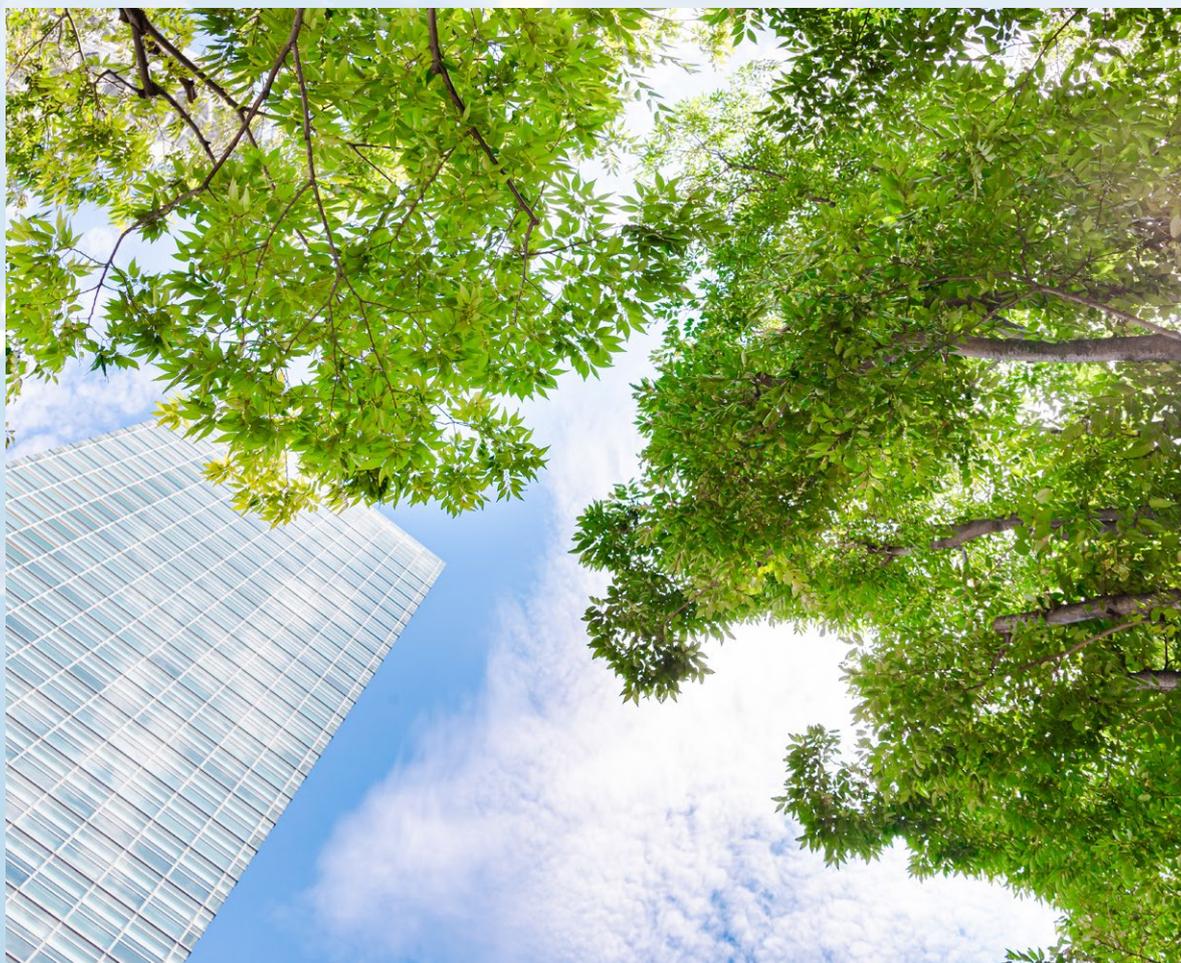
今後の北部九州会の方針としては、準会員同士の交流の機会を設けるべく、新型コロナウイルス感染症以前までは実施しておりましたJ1歓迎会の再開を予定しております。そのほか、オフライン形式・オンライン形式またはハイブリット形式を用いて可能な形でイベントの実施を検討しております。

また、地域活性化の活動として、公認会計士という職業の周知を目的とした高校への広報活動及び公認会計士受験生に向けた受験生相談会の実施を通じて、準会員会という垣根を超えたネットワークを

構築していきたいと考えております。

新型コロナウイルス感染症の影響により、北部九州分会の活動は制限されてきましたが、2023年度はその遅れのみ

を取り戻すべく積極的に活動を実施していきたく所存でございますので、今後とも北部九州会をどうぞよろしく願いたします。



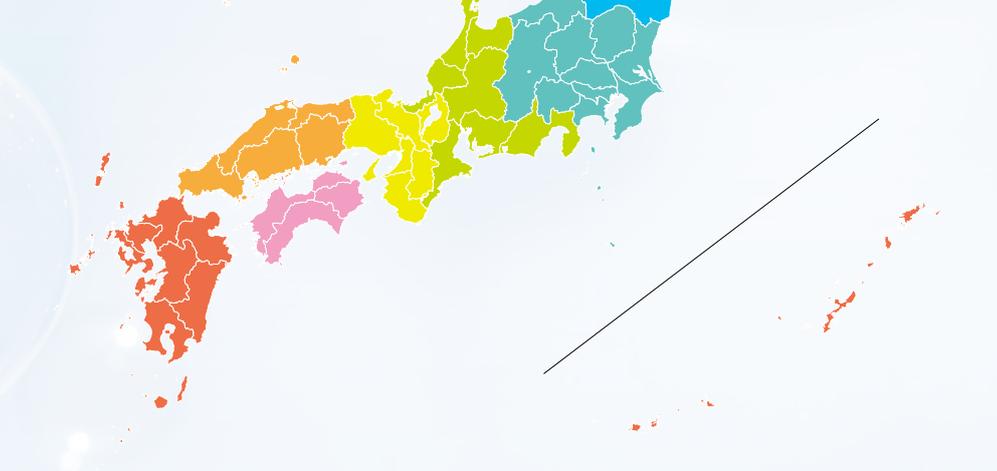
# 全国

- 四国分会
- 香川県
  - 徳島県
  - 愛媛県
  - 高知県

- 近畿分会
- 滋賀県
  - 京都府
  - 奈良県
  - 大阪府
  - 和歌山県
  - 兵庫県

- 北部九州分会
- 福岡県
  - 佐賀県
  - 大分県
  - 熊本県
  - 宮崎県
  - 長崎県
  - 鹿児島県
  - 沖縄県

- 中国分会
- 鳥取県
  - 島根県
  - 岡山県
  - 広島県
  - 山口県



- 東京分会
- 新潟県
  - 群馬県
  - 栃木県
  - 茨城県
  - 長野県
  - 埼玉県
  - 千葉県
  - 山梨県
  - 東京都
  - 神奈川県

- 北海道分会
- 北海道

- 東北分会
- 青森県
  - 秋田県
  - 岩手県
  - 山形県
  - 宮城県
  - 福島県

- 東海分会
- 富山県
  - 石川県
  - 福井県
  - 岐阜県
  - 愛知県
  - 静岡県
  - 三重県

2022  
10/9

## 進委員会全国幹事会開催のご報告

2022年10月9日(日)、10日(月)に全国各地の進委員会幹事会により全国幹事会が福岡にて開催されました。年に三回行われる全国幹事会は日本全国の進委員会幹事が一堂に集まる重要なイベントです。近年では新型コロナウイルス感染症への警戒のため、リモート開催されることも増えておりましたが、今回の全国幹事会では、感染対策を徹底しながらも一つの場所を共有して互いに顔を合わせることで地域分会の垣根を超えて交流を深める時間となりました。

9日は日本公認会計士協会常務理事である脇一郎様・古谷大二郎様のご挨拶から開幕いたしました。脇様からは公認会計



士の存在意義を常に問い続けてほしい旨、古谷様からはこのような交流の機会を大切にしてほしい旨のご挨拶をいただきました。その後、昨今の状況の影響で、未だに企画を実施したことのない分会も増えていることから「企画を作ってみよう」という時間を設けました。各分会の幹事ごとに分かれて企画を一から話し合い、最終的には企画書を書き上げてどのような企画を立ち上げたのかについてプレゼンを行いました。受験生向けの企画から準会員向けの企画までバラエティあふれる企画が発表され、古谷様からもフィードバックをいただくなど、大変な盛り上がりを見せました。

10日は、宮本義三北部九州分会会長にご挨拶いただいたのち、執行部からの活動報告がなされました。コロナ禍の影響もあり、執行部の活動も限定的である点やリモートでのイベント実施が増えている点から、予算の執行率も低い状況が続いていることが報告されました。ここで古谷常務理事から、ウィズコロナへと舵を切っている昨今の状況を鑑みて積極的に活動をしてほしいとのコメントをいただきました。



その後、各分会から活動報告がなされました。東京分会・近畿分会がかなり活発に活動している反面、ほとんど活動がない分会もあったことから、今後は定期的な

例会の実施を継続していくことから始めていく方向で一致しました。



会の終盤では、全国幹事会恒例のお土産交換会も行われ、皆様お菓子を食べながら和気あいあいとした時間を過ごしました。そして、森田代表幹事の閉会の辞で二日間にあたる全国幹事会が幕を閉じました。

私自身(東京分会広報担当・田中和哉)、全国幹事会に初めて参加させていただきましたが、全国で活躍する幹事たちとの交流はとても楽しく刺激的でした。法人・地域の垣根を超えてつながった交友関係に感謝しながら、今後も準会員会では会員・準会員向けに役立つようなイベントを開催してまいります。



2023  
3/4.5  
準会員会全国幹事会  
(2023年3月4・5日 大阪)  
開催のご報告

2023年3月4日(土)、5日(日)に全国各地の準会員会幹事により全国幹事会が大阪にて開催されました。年に三回行われる全国幹事会では日本全国の準会員会幹事が一堂に集まる重要なイベントです。近年では新型コロナウイルス感染症への警戒のため、リモート開催されることも増えておりましたが、今回の全国幹事会では、感染対策を徹底しながらも一つの場所を共有して互いに顔を合わせることで地域分会の垣根を超えて交流を深める時間となりました。

初日は、諸連絡の後に全国幹事会企画

として、コーチングの専門家である袖川航平氏を迎えて、コーチングイベントを行いました。なぜ公認会計士になったのか、どんな公認会計士になりたいのか、準会員会が目指す姿はどのようなもののかなど、普段は改まって話すことの少ないテーマについて、グループに分かれてディスカッションを行いました。参加メンバーの熱量に袖川氏も驚くほどで、まさに対面で実施することの意義を目の当たりにしたようでした。全国幹事会ならではの非常に充実した時間を過ごして、初日が幕を閉じました。

二日目は、後藤紳太郎近畿分会会長から準会員として過ごす数年間を大切にしたい旨のご挨拶をいただいたのちに、準会員会のご担当の脇常務理事・古谷常務理事からそれぞれご挨拶をいただきました。その後、執行部からの活動報告がなされました。コロナ禍の影響もあり、執行部の活動も限定的である点やリモートでのイベント実施が増えてきている点から、予算の執行率も低い状況が続いていることが報告されました。続いて、各分会から活動報告がなされました。



東京・近畿分会の活発な活動が継続していることに加えて、これまでほとんど活動実績のなかった分会から活動報告が行われるなど、大変な盛

り上がりを見せました。久々の活動を主導した幹事からは前回の全国幹事会での東京・近畿分会の活動ぶりに刺激を受けたとのことで、全国幹事会を対面にて実施する意義を改めて実感いたしました。そしてその後、次期執行部候補の所信表明が行われました。各候補の熱い所信表明と参加者との真摯な質疑応答が行われ、最終的に全員が承認されました。最後に、森田代表幹事の閉会の辞で二日間にあたる全国幹事会が幕を閉じました。

私自身は二度目の全国幹事会でしたが、全国で活躍する幹事たちとの交流はやはりとても楽しく刺激的なものでした。とにかく対面で膝を突き合わせて議論しないとわからないことが多く、対面で全国の準会員幹事とお会いできる機会をいただけて大変貴重な時間でした。このように法人・地域の垣根を超えてつながった交友関係に感謝しながら、今後も準会員会では会員・準会員向けに役立つようなイベントを開催してまいります。

(東京分会広報担当 橋本和哉)



2023  
6/24

## 準会員会全国幹事会 & 通常総会開催

2023年6月24日(土)に全国各地の準会員会幹事により全国幹事会・通常総会が東京にて開催されました。

年に三回行われる全国幹事会は日本全国の準会員会幹事が一堂に集まる重要なイベントです。近年では新型コロナウイルス感染症への警戒のため、リモート開催されることも増えておりましたが、今回の全国幹事会では感染対策を徹底しながらも一つの場所を共有して互いに顔を合わせることで地域分会の垣根を越えて交流を深める時間となりました。



午前中は、古谷常務理事・協常務理事のご挨拶から開幕しました。古谷常務理事からは今回の全国幹事会から参加いただいたJ-1の幹事が先輩の背中を見て学ぶことの尊厳、協常務理事からは準会員会が一体となつて同じ方

向で進んでいくことの大切さと非財務価値との向き合い方についてご教示いただきました。

その後、各委員長からの活動報告を経て毎回恒例の各分会長の活動報告とお土産紹介が行われました。東京分会や近畿分会の積極的な活動は継続しつつ、東海分会や北部九州分会なども活動が再開された旨が報告され、活気ある議論が交わされました。また、お土産は今回は全体的に塩気のあるものが並び、談笑しながら各地域の名物に舌鼓を打ちました。そして、本会にて新執行部に立候補した幹事による所信表明が行われました。

古谷常務理事・協常務理事からの鋭い質問も飛び、熱い議論が交わされました。最終的に全員が承認され、午前中が活況のうちに幕を閉じました。

午後の部の開会では、茂木日本公認会計士協会会長・鶴田日本公認会計士協会副会長・八木日本公認会計士協会東京会会長からそれぞれご挨拶を頂戴しました。



その後、執

行部からの事業報告・会務報告がなされたのちに、事業計画書の審議・承認がなされました。近年はコロナ禍の影響もあり予算の執行率も低い状況が続いておりましたが、当年度は各地域分会の積極的な活動もあり執行率が上昇したことが報告されました。そして、森田代表幹事の閉会の辞で全国幹事会が幕を閉じました。

私自身は三度目の全国幹事会でしたが、全国で活躍する幹事たちとの交流はやはりとても楽しく刺激的なものでした。一方、予算の関係で現地参加がかなわない幹事たちも非常に多く、その点だけが非常に残念に思いました。コロナ禍を乗り越えて、対面で会える機会がようやく増えてきたのであれば、やはりリモートではなく直接顔を合わせて話したいと強く感じました。

準会員会での活動を通じて法人・地域の垣根を越えて繋がった交友関係に感謝しながら、今後も準会員会では会員・準会員向けに役立つようなイベントを開催してまいります。



## 編集スタッフ

---

松野 孝治  
高橋 凌太  
丸山 寛史  
栗木 希  
井上 新之介  
高崎 歩  
北條 大地  
藤本 繁  
浅野 颯人

### 編集後記

分会長、協会事務局、私以外の執行部メンバーの皆様のご協力のおかげをもちまして、本年度も無事、本稿を発行できました。この場をお借りして深く御礼申し上げます。

昨年度はコロナ禍の影響も縮小し、東京・近畿以外の地方分会でも企画運営が活発に行われ始めるきっかけとなる年でした。本年度もその流れを絶やさず、会計士業界を更に盛り上げていくため尽力して参りますので、今後とも準会員会をよろしく願いたします。

準会員会広報委員長 浅野 颯人

日本公認会計士協会準会員会

■ お問い合わせ

[info@jija.jicpa.or.jp](mailto:info@jija.jicpa.or.jp)

■ WEB

<https://www.jija.jicpa.or.jp/>

●●信頼の力を未来へ  
**jicpa**   
日本公認会計士協会  
準会員会

